

名張市史だより

NABARI HISTORY LETTER No. 21

●編集発行●
名張市郷土資料館(教育委員会文化生涯学習室)
〒518-0737 名張市安部田2270番地
名張錦生ふるさとパーク内
☎64-7890

「亥の子餅」行事

名張市の主に西部地域(赤目・錦生地区)では、地区の子どもたちが縄を何本もつけた石で、唱え事をしながら地面を突いて地区を廻る「亥の子餅」行事が行われているのをご存じでしょうか。

この行事の由来は、亥の月(旧暦10月)の最初の亥の日の



「亥の子餅」行事の様子(赤目町檀地内)

亥の刻(午後9時~11時)に餅を食べて無病のまじないをする中国由来の俗信からきています。日本には平安時代に宮廷に伝わり、この日に猪の子に似せて作った亥の子餅を天皇に献上する儀式を行っていました。これが次第に民間に伝わり、除病・子孫繁栄を願う風習として広がりました。

農村では時期的に秋の稲の取入れ後にあたるため収穫後の祭りとして普及しました。また、この行事は猪の多産にあやかり安産・子宝の祈願、あるいは石で地面を突くことにより猪やモグラの害を防ぐ意味があるともされており、西日本の農村によく見られます。名張市内の「亥の子餅」行事では、現在の行事の内容に



亥の子餅の石(宝珠)

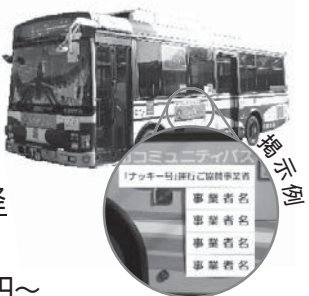
なった時期は不明ですが、10月上旬の夕方から丸石に縄を何本か結び付けたものを持って地区の子どもたちが「亥の子餅」行事を実施します。石は、神社などで見られる石灯籠の一番上にある宝珠の部分を使います。そして、訪れた家の庭先で「亥の子の唄」を歌いながら地面を石で突き、家の

人から祝儀をもらう、という流れで地区の家々を数時間かけて廻ります。また、唄の歌詞は地区によって少しずつ異なります。

現在では少子化により途絶えてしまった地区もあります。この行事を復活させようとする試みもあります。長年地域に伝わってきた行事がこれからも地区の次世代に継承されることを切に願います。

コミュニティバス「ナッキー号」の運行協賛事業者を募集

市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の運行を支援いただける事業者を募集しています。地域貢献として協賛いただいた事業者の名称などを車両に掲示させていただきます。(令和4年度の年間乗降者数:46,000人)



協賛金額 月額5,000円~
協賛期間 1カ月単位で最長12カ月(随時募集・継続可)
◎詳しくは、市HPまたは問合先へ
☎都市計画室 ☎63-7749

名張市選挙管理委員会が決まりました

任期満了(令和5年12月21日)に伴う名張市選挙管理委員の改選が行われ、4人の委員が決まりました。任期は令和9年12月21日までの4年間です。また、1月10日に開かれた選挙管理委員会で委員の中から委員長と委員長職務代理者が次のように決まりました。

- 委員長 福山 英敏(桔梗が丘3)
- 委員長職務代理者 望月 明子(桔梗が丘8)
- 委員 中辻 重行(柳原町)
- 委員 岩崎 壽久(安部田)

☎選挙管理委員会事務局 ☎63-7314

NHKにつぼん縦断こころ旅お手紙募集

NHK-B5プレミアムで放送予定の「につぼん縦断こころ旅(2024春の旅)」。



火野 正平さん

みなさんからのお手紙で旅のルートを決するため、市内の「忘れられない場所、風景」にまつわる手紙を募集しています。
三重県の放送予定(BSP4K) 5月20日月~24日金
応募期限 4月1日日必着
応募内容 住所、氏名、電話番号、性別、年齢、思い出の場所、風景にまつわるエピソード
応募方法 番組HP、ファクス(03-3465-1327)、郵送(〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1 NHK「こころ旅」係)で問合先へ

☎NHKふれあいセンター ☎0570-066-066/050-3786-5000

名張・伊賀の歴史を学ぶ「名張歴史読書講座」

日時 毎月第2金曜日 午前10時~正午
場所 図書館2階視聴覚室
年会費 4,000円 定員 40人 ※先着順
申込期間 3月1日金~4月5日金
◎申込方法など詳しくは、問合先へ
☎名張歴史読書会(高見) ☎090-9193-6359

古文書を現代ことばに「名張古文書研究講座」

日時 毎月第1日曜日 午後1時30分~4時
場所 図書館2階視聴覚室
年会費 3,000円 定員 若干名 ※先着順
申込期間 3月1日金~31日日
◎申込方法など詳しくは、問合先へ
☎名張古文書研究会(内田) ☎090-8575-7758

災害から自分たちのまちを守る! あなたも消防団に入りませんか?

市内在住の18歳以上の人で、消防団活動に支障のない人なら誰でも大丈夫! **会社員、自営業者、学生、主婦など職種、男女は問いません。**
詳しくは、市HPをご覧ください!
☎消防総務室 ☎63-5990

災害対応には消防団が必要不可欠!
能登半島地震のように、道路が寸断されるなど被害が大きいと、すぐに消防隊が行くことができません。大規模災害発生直後は、消防団員の力が求められます。災害から地域を守るためにも消防団の存在が必要不可欠です。



消防団員は、地域防災力の要!

消防総務室 竹森 康介